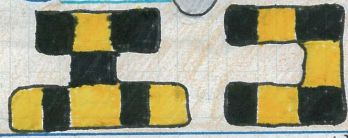




京成電鉄の



への取り組み

みんな 聞てつ



発行日
2012年8月23日
発行者
中高下莉子

節電も 一歩ずつ

自宅や学校から京成の駅が近いため、家族で外出する時や部活で移動する時に京成電鉄をよく利用します。その時に感じた京成電鉄の節電への取り組みには次のようなものがありました。

- 1. 日中の列車内照明の一部消灯
- 2. 日中の駅構内照明の一部消灯
- 3. 夜間の券売機・精算機の一部使用停止
- 4. 弱冷房車両がある

上記の他にも節電への取り組みがあるのか自宅近くの東中山駅の駅長さんと駅員さんにお話を伺いました。



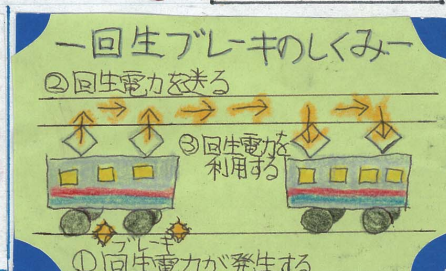
東中山駅・駅長さんと

1. 日中の列車内照明の一部消灯
 車掌さんの判断

2. 日中の駅構内照明の一部消灯
 明の一部消灯

3. 夜間の券売機・精算機の一部使用停止
 各駅の判断

4. 弱冷房車両がある
 駅での停車時間が長い時の選択扉の実施(冷暖房の効率を高めるため、3つのドアのうち真ん中のドアだけ開け、両脇のドアを閉めている)



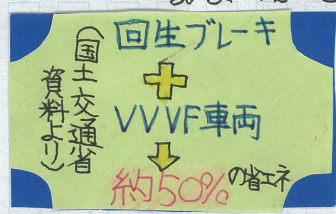
エコな工夫

● 回生ブレーキの採用 ● 環境に優しいVVVF車両

電車がブレーキをかか、モーターを動かす電機が利用できるようにする。

その電力を架線に戻し、他の電車が利用できるようにする。

● 車両の軽量化 ● アルミ車体の採用により車両の軽量化を図り、使用電力の節減と騒音・振動低減に効果がある。



京成電鉄では、使用済みの乗車券を再利用した「社用封筒」を作成・使用したり、「鉄道係員の制服」に使用されているポリエステル素材をペットボトル再生ポリエステルにすることにより、資源の有効活用に取り組んでいます。

再生可能エネルギーの利用を促進するために、鉄道関連施設に「太陽光発電システム」を設置して、その効果は、晴天時には設備全体の約半分の電力を太陽光でまかなえます。



東中山駅入口と停車中の3000形車両(通称カキ型車両)

シャープな外感とエコで高品質の車両の新型スカイライナー(VA200)が2010年9月29日にグッドデザイン賞を受賞しました。

京成初の受賞